





- (2) 水産業のサプライチェーンについて調査やモニタリングをどのように実施していますか（基準または手順等）。

お取引先様との共存共栄による持続的発展可能な社会の実現、「セブン&アイグループお取引先サステナブル行動指針」の推進とその実効性の検証を目的として、お取引先様へ人権関連の監査項目を含むCSR監査を実施しています。

<https://www.7andi.com/csr/theme/theme5/client.html>

- (3) 貴社は、貴社の人権方針（ないしその他の調達コード等）に基づき、サプライヤーに対して人権尊重を求めるために、特にどのような措置を実施されていますか。

お取引先様と協働で人権・労働・環境面などの社会的責任を果たしていくため、「セブン&アイグループお取引先サステナブル行動指針」の運用を強化しています。

リスクの高い中国・東南アジア地域のプライベートブランド商品製造委託先お取引先様に対して、人権や労働環境、地球環境保全などに関する啓発と、関連基本法令に関する理解促進と法令遵守の徹底を目的に、コンプライアンス研修を開催しています。

<https://www.7andi.com/csr/suppliers/guide.html>

#### 4. 人権デューデリジェンスの実施状況

- (1) 人権デューデリジェンスプロセスまたは人権リスク評価を定期的実施していますか。

人権関連の監査項目を含むお取引先CSR監査を実施しています。

<https://www.7andi.com/csr/theme/theme5/client.html>

- (2) 人権デューデリジェンスプロセスについての過去の調査レポートを公開しましたか。ある場合は、リンクを貼り付けてください。非公開の場合は、その理由を回答ください。

お取引先CSR監査の実績につきましては以下のURLからご確認下さい。

<https://www.7andi.com/csr/theme/theme5/client.html>

- (3) 人権デューデリジェンスプロセスにおいて、サプライチェーン上の労働者（漁船の乗組員を含む）に対する新型コロナウイルス対策の有無・内容について確認していますか。確認している場合は、その具体的内容（確認項目・確認結果含む）を回答ください。

国内工場につきましては、感染対策や感染者への対応などについての情報、感染者の発生状況の情報の共有を行い、適切に対応しているか確認しています。

#### 5. 対話・救済手続（グリーンバンスメカニズム）の実施状況

上記2(4)の体制について、水産業に従事する船上の労働者がアクセスすることのできるグリーンバンスメカニズム（対話・救済手続）を設置している場合、本アンケート回答時までの実施状況（相談件数、相談内容、相談に対する対応内容等）を回答ください。

水産業に限定した実績ではございませんが、お取引先ヘルプラインの実施状況につきましては以下のURLからご確認下さい。

<https://www.7andi.com/csr/compliance.html>



6. ステークホルダーエンゲージメント

上記2ないし5の体制構築・実施に際して行われている、下記のステークホルダーとのエンゲージメントの内容（頻度、テーマ、経営への反映など）について回答ください。

- ・労働組合
- ・NGO
- ・投資家
- ・国際機関
- ・その他

毎年、プライベートブランド商品製造委託先お取引先様、工場様向けに「セブン&アイグループお取引先サステナブル行動指針」の説明会を開催し、理念の共有と協力体制の強化に努めています。また、コンプライアンス研修を開催し、教育・啓発活動にも注力し、人権・法令遵守・労働安全衛生・環境保全などへの取り組みを支援しています。

<https://www.7andi.com/csr/theme/theme5/client.html>

7. 本件に対する対応

上記1で、把握していると回答された場合、本レポートで言及された事案について、上記2ないし5の人権デューデリジェンスやグリーンバンスメカニズム等の社内システムでどのように対応されたか回答ください。

CSR監査における不適合につきましては、すべて是正対応を確認し、お取引を継続しています。内部通報制度の通報案件についてもすべて改善・是正を確認できるまでフォローアップしています。

8. 貴社における困難・障害

水産業界における人権状況を改善し、持続可能な水産業を実現する上でどのような困難・障害（法令の欠如、技術不足、産业内での協力体制など）があるか、回答ください。

弊社では、水産品の一部商品について、生産者や生産地、流通経路を把握している商品を取扱っています。しかしながら、その他の水産資源に関しましては、地球温暖化に伴う海水温の上昇等に伴う漁場の変化に伴い、調達先も変化することもあり、現状では、二次、三次サプライヤーおよび原材料調達先の労働環境を把握しておりませんが、今後の課題として認識し、改善に努めてまいります。